

(試験研究課題年次別解説集様式3号：完了課題用)

刺網漁業の管理に関する研究

(多元的資源管理型漁業の推進に関する研究)

(予算区分 委託、補助 研究期間 平成 15～16 年度)

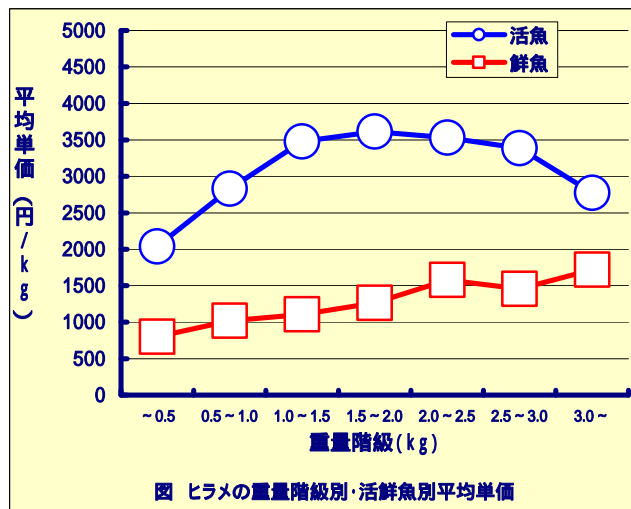
漁業開発部

【研究の背景とねらい】

榛南海域における刺網漁業の主要対象魚種であるヒラメの資源水準を市場調査による漁獲物の年齢組成の把握と漁獲統計資料の解析から評価し、持続的な利用が可能な適正漁獲量の算定を行います。また、ヒラメを対象とする刺網漁業の収入増大につながる操業方法について提言します。

【研究成果】

- ・ヒラメの資源量は平成9年以降減少傾向にあるものの、平成11年以降では比較的安定した状態となっています。
- ・現状のヒラメに対する漁獲圧は加入量あたり最大の漁獲量が得られる最適な漁獲圧の約1.2倍と推定され、やや高い漁獲圧がかけられていると考えられます。
- ・ヒラメ活魚の平均単価は、1.0～2.0kgの大きさでは概ね3,500円/kg以上でしたが、鮮魚では500～1,500円/kg程でした。
- ・現状の全長30cm以下の水揚げ制限を全長35cmにまで引き上げると、総漁獲量および総漁獲金額はそれぞれ1.08倍、1.11倍となることが推定されました。



【研究成果の普及方法】

- ・推定されるヒラメの資源水準については、研修会をととして漁業者にお知らせします。
- ・ヒラメ資源の維持と漁業収入の増加を目指すための新たな漁業管理措置を刺網漁業者および仲買人との合意形成後に実施します。

(作成 平成 17 年 3 月)